

# こうち生協取材新聞

高知商業高校  
2年5H 国際コース  
社会マネジメント科

私たちは九月十二日に「コープ」と呼ばれているこうち生協に取材へ行ってきました。

## こうち生活協同組合とは

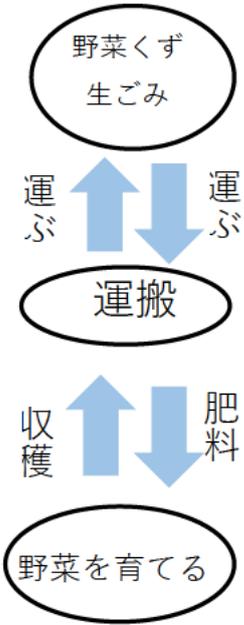
生協とは、「生活協同組合」の事で、私たち消費者が暮らしの中で、生まれる共通の願いを実現する為に手を取り合って自ら運営する組織の事です。そして、営利を求めず、人と人との結びつきにより、よりよい暮らしを実現しています。

## 生協ガイド「CSR」

生協では「CSR」に取り組んでいます。「CSR」は、コーポレートソーシャルレスポンスビリティの略です。CSRレポートは、社会的責任・社会的役割に関するこうち生協の取り組みをまとめたものです。

## 廃棄物の活用方法

高知県内には実は店舗が二店舗存在し、一つの店舗では生鮮、刺身などの生ごみや野菜のクズなどを集め堆肥にするサイクルをしています。高知市土佐山地区で堆肥化し、野菜の栽培時に利用される、収穫された野菜をこうち生協の店舗で販売しています。このように、「循環型農業」が推進されています。



またお客様から注文をいただき、その注文により、生産をすることにより、食品ロスが少ない社会を作っています。このように食品ロスが少なくなり、再生利用も行っているため、環境にやさしい循環サイクルといえます。

◎注文制ならストックの食品の余りはある？  
↓余った食材も有効活用する

① コロナ禍の中、自宅待機している人への食材、物資を送る

② アルバイト難の大学生を支援する

◎生協のカタログは環境に優しいように、生協独自のカタログを作成しています。

↓このようなカタログを利用者さんに配布し、注文を受け付け、商品をお届けしています。



## 地域で頑張っている人を応援する

カタログを使った注文制のため、消費者はわざわざその地域に行くことなく、色々な地域の地産地消な商品を食べることができます。

また身体の不自由な方、高齢者、小さな子供を育てていて、遠くまで行けない方などに優しい仕組みになっています。「誰もが便利なスタイルに！」  
↓最近ではアプリを開発し、アプリで注文することで、紙ごみを減らす取り組みを行っています。

◎こうち生協のトラックをよく見かける。そうするとトラックから出るCO2の量は多いのか？  
↓実はそんなことはない！

生協で排出量が多いのは電気だ。それは、店舗が二店舗あり、その二店舗分の電気、また電気をつけたままで営業しなければならぬ、その電力、そして冷蔵庫の冷気、それにより店舗内寒すぎるので調節するために暖房も一緒にかけている。

↓電力の消費量は半端ではないことがわかる。

◎そのため、こうち生協は、太陽光パネルを使用しており、太陽光発電を推進することで環境に優しい活動に取り組んでいます。

◎将来に向けたCO2削減を心がけている  
↓ゆくゆくはトラックを電気自動車に変更する取り組みも検討中とのことです。

## 多種多様な取り組み

◎フェアトレード商品にも目を向けてみる！

◎「エコチャレンジ」を実施している！

エコチャレンジとは、エシカルの蛙マークや、フェアトレード商品のマークなどを集めることで、ゴミ袋などのプレゼントをもらえるという仕組みのイベントだ！

↓一緒にフェアトレードとは何かを学びながら、商品の存在を知ってもらえ、また学ぶこともできるという企画！

↓取り組みを通して自覚していく、意識付けをしていくことが出来る！

# 感想

私たちは今回、こうち生協様にインタビュをさせていただきました。まず、こうち生協様と、お客様との係わりの近さを感じました。そして、一つ一つのことを大切にしているということ、廃棄物を再利用することで、ゴミを減らすという循環型の仕組みを作っていることをおうかがいし、「すごい」の一言でした。

また、記事で紹介させていただいたように、それぞれの店舗で多様な取り組みを行っていることを知ることができました。そして、現在、新型コロナウイルス感染拡大により、生活が困難になってしまった方たちに、ボランティアとしてサポートを行っています。

こうち生協様を訪問させていただき、私も、社会のために、そのような活動に参加していきたいと思いました。

今回、ハンガーフリーワールド様のユース記者活動を通して、身近なところにSDGSがあることに気づかされました。それは、今回、私達の取材を受け入れていただきました「こうち生協」様は母が利用しており、身近な存在だったことにもあります。このユース記者の取材活動を通して、多くの企業がSDGSを意識していること、地球環境を考えたエコ活動など様々なことを考え、企業活動をおこなっていることに気づきました。

こうち生協様で印象強く残っている取り組みは「食品ロスを出さない」ための取り組みです。先述したように母は「こうち生協」様を利用しています。これまでに不思議には思っていなかったこと、利用者にとって便利なシステムだと思っていたことがあります。それは「注文時に一週間の食材を注文表に記入し、一括注文をする」というスタイルです。こうち生協様は注文を受け、必要な分だけの食材を用意し、消費者に提供することで、食品ロスを少なくすることができると気づきました。

そうです。実はすぐ近くにSDGSの取り組みがありました。また多くの方々がこれらの活動に力を入れているということが取材を通して分かりました。

このユース取材活動は違った視点から様々な事を学べ、有意義な時間でした。そして、今、私は「国際コース」に在籍し、途上国の現状などを学んでいます。ひとりの力で世界は変えられないと思っていました。しかし、まずは食べ残しをしない、使っていない電気を消すなど、小さな事を続けていくことが世界を変える一歩になると考えます。

ユース記者活動に参加できたことに感謝しています。